

父の日に寄せて

サービス付き高齢者向け住宅 杏心の丘

6月の第3日曜日は父の日。少し早いですが、杏心の丘にお住まいの今川さん、人見さんのスナップ写真をご紹介します。



今川さんと長女さん

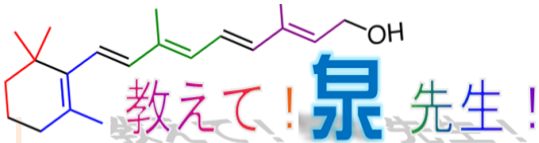
大正15年生まれの今川さんは、週のほとんどをデイサービスで過ごされています。体操の時間には、誰よりも大きな掛け声で、皆さんをリードされ体作りに励んでおられます。杏心の丘での生活は、レディーファーストを徹底されていて、スタッフにも「いつも大変ね、ありがとう」と声をかけてくださいます。娘さんにそのお話をすると、「そうですか、昔は、頑固だったんですよ…今じゃ頑固爺ですけどね」と笑われるお二人の笑顔がそっくりでした。



人見さんと
長女さん、次男さん

今年101歳になられた人見さん。一日のスタートは「今日は何曜日？」とスタッフに尋ねることから始まります。ご自身で今日の予定を思い出されているようです。歩行器は使われるもののデイサービスや食堂までは、一人で移動されます。娘さんも「父は頑張り屋さんで、こうと決めたらきちっとやり遂げます。私が帰る時は、忘れ物はないかと声をかけてくれる程ですよ。」と仰っていました。いつもお子さん達の訪問を楽しみにしておられます。

素敵なお父さん方、これからも元気でいてくださいね。（サ高住 野田）



高齢者と肺炎球菌ワクチンについて

肺炎は、日本人の死因の第3位。また肺炎で亡くなる方の95%は65歳以上です。一番多い原因菌は、肺炎球菌であることから、国は平成26年10月から高齢者の肺炎球菌感染症の定期接種を開始しました。このワクチン接種により、重症化防止などの効果が期待できます。健康寿命を延ばすための対策のひとつとして知っておきましょう。



質問1) 定期接種は、どういう方が対象ですか？

平成30年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になられる方が対象で、自治体から一部助成があります。対象者には、熊本市の場合、4月にハガキ（接種助成券；接種料金4600円）が送付されています。対象になる方は確認しておきましょう。ニューモバックスNP（23価肺炎球菌多糖体ワクチン）が接種されます。



質問2) 任意接種はできますか？



できます。プレバナー13（13価肺炎球菌結合型ワクチン）とニューモバックスNPの2種類のワクチンがあり、全額自己負担になります。65歳以上で、糖尿病、心疾患、呼吸器疾患、腎不全など慢性疾患をお持ちの方、免疫力が低下している方、たばこを吸っている方などは肺炎には特に要注意ですので、定期接種を待たず、任意接種をお勧めします。

質問3) 再接種はできますか？

できますが、肺炎球菌接種の有無（種類）、接種時期（間隔）などを考慮して適したワクチンが選択されます。窓口にご相談ください。



以上、不明な点がございましたらご相談ください。